

# 2014 年下期の景気見通し

—— 景気政策の下支え効果は秋口まで ——

一般社団法人 日本経済協会理事長

早稲田大学教授・経済学博士 田村正勝

目次

## (一) デフレの4原因と景気回復力の後退

- (1) 成長率の低下および駆け込み需要の限界と反動
- (2) 企業利益の勢い低下
- (3) なぜ日本だけがデフレか！
- (4) 春闘の成果 - - - どの程度の消費・景気プッシュか！
- (5) 為替と株価の動向 - - - アメリカの金融緩和縮小策と中国の景気とで揺れる

## (二) 円安による「貿易赤字」と「物価上昇・家計圧迫」

- (1) 円安でも伸びない輸出 - - - 海外生産の増大
- (2) 円安で輸入物価上昇による「貿易赤字の激増」と「インフレ」
- (3) ラッキーな TPP 交渉の頓挫 - - - 交渉挫折が望ましい
- (4) 危険な特定機密保護法と TPP の結合 - - - “官・業”癒着と“官・外資”癒着

## (三) 中小企業の苦境と新たな展開

- (1) 中小企業の苦境が賃金抑圧 - - - 川上インフレ・川下デフレ
- (2) 非正社員・外国人雇用の増大 - - - 現実無視の行政の責
- (3) 官・業協力の製造業革命
- (4) 情報交換と異業種交流の成果

## (四) 消費増税と法人減税による景気押しつぶし

- (1) 消費増税不況を糊塗する異常な財政出動 - - - 財政の崖へ
- (2) 景気に繋がらない大企業減税
- (3) 秋口から要警戒の景況

## (五) 順調な ASEAN と停滞の欧米 - - - 日本はアジアと提携で活路

- (1) アメリカ経済と金融緩和縮小策
- (2) 中国依存のアジア NIEs - - - 香港、シンガポールが好調
- (3) ASEAN (東南アジア 10 か国) は順調 - - - 東アジア 16 か国の提携へ
- (4) 当面は現状維持の中国経済 - - - 民活と格差是正の重視